



議会だより

ていすかす

113号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2022.8.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ウェブサイトやフェイスブックページで、議会の活動や各種情報をご覧ください



目次	
委員会だより	②ページ
一般質問	③～⑤ページ
補正予算審査	⑥ページ



▲北海道登別青嶺高等学校の生徒と「健康なまちづくりに向けて」をテーマに意見交換しました。(6ページに掲載)

広聴・公開委員会の 議会サポーターを公募します

本市議会では、委員会の求めに応じ、議案などの審査や調査のために参考意見をいただくため、議会サポーター制度を設けています。

この度、広聴・公開委員会では、市民との協働による広報・広聴活動の参画のため、議会サポーターを公募します。

申し込み 市議会ウェブサイト掲載または下記の二次元コードの申込書に必要事項を記入し、**9月1日(木)**までに、持参または郵送(当日消印有効)、ファクス、Eメールにより議会事務局に提出してください。

※サポーターの氏名は、市議会ウェブサイトや議会だよりで公開します。ご承知おきください。

→申込書



→議会サポーター設置要綱



▲議会サポーターとの意見交換会の様子

令和4年第2回定例会における 議案の賛否状況

第2回定例会で上程された議案はすべて可決され、否決された議案はありません。

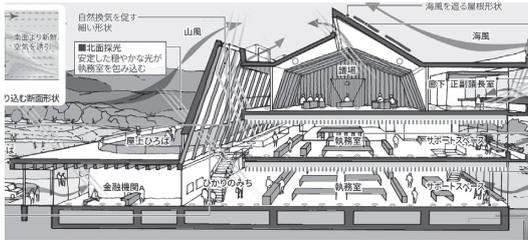
終盤を見据えた活動展開

総務・教育委員会

本委員会の活動も2年目を迎え、次の内容を集中的に進める予定です。

①重点活動テーマ「(仮)持続可能な開発目標(SDGs)を登別市のまちづくりを生かす条例の制定」については、先進地における取り組みや、各種団体や企業からの意見を条例案に考慮するとともに、条例制定に向けて市民説明会やパブリックコメントを実施する予定です。

②本庁舎建設に関する議場・議会関連諸室の在り方については、既存の確保を前提に、建設基本設計・実施設計等業務委託事業者の選定を踏まえ、より具体的な議会施設の考えを、議長への答申に盛り込みます。



▲市役所新庁舎の公募によるプロポーザルでの提案イメージ

③スマートシティの取り組み状況、学校施設の活用方法、学校情報化の現状については、所管事務調査を適宜実施する予定です。
(天神林)

政策提言に向けた活動予定

生活・福祉委員会

後期の委員会活動も2年目に入り、これまでなかなか開催できていなかった対面での意見交換会や、先進地の行政視察ができるようになってきております。

そこで、重点活動テーマである「健康なまちづくりの推進に向けて」の政策提言に向け、議会サポーターとの意見交換会や、先進地事例の取り組みを視察する予定であります。

また、調査・研究事項である、ひきこもりの現状については、関係団体である登別市社会福祉協議会との意見交換会を実施しましたので、本市の現状や今後必要となる取り組みについて、調査・研究を進めていきます。

その他、今後の委員会活動については、現在検討されている今後の廃棄物



▲登別市社会福祉協議会との意見交換会の様子

処理の在り方などについて、引き続き委員会としても調査を進めていきます。
(宮武)

政策提言の作成に向けた取り組み

観光・経済委員会

本委員会では、登別商工会議所との意見交換を行うとともに、議会サポーターとの意見交換会を実施しました。

2年目の活動として、今期は行政視察を行うこととしています。

主な調査項目としては、大分県由布市にてグリーンスローモビリティの車両導入経費や採算性、課題などを調査し、熊本県阿蘇郡南小国町では、再生可能エネルギー導入ロードマップについて、策定の経緯やエネルギー施策の現状などを学ぶ予定です。

また、熊本県阿蘇郡小国町では、豊富な地熱資源を活用した取り組みについて、エネルギーの地産地消などを視察することとしています。



▲4月4日開催 議会サポーターとの意見交換会の様子

その後、関係団体や議会サポーターとの意見交換会を行いながら、今期における本委員会での政策提言の作成に向けて、取り組んでいきます。
(小栗)

市民参画への活動を加速させて

広聴・公開委員会

現在協議中の今年度の主な取り組みは、市民との意見交換の場である、議会フォーラムの開催を念頭に、議会だより「でいすかす」の編集過程における編集方針の策定と、中吊り広告を連想させる一般質問告知ポスターの本格導入へ向けて、前向きな議論や検討を進めています。

議会だより編集方針の策定に当たり、次年度には改選期を迎えますが、議会だより創刊号の思いやこれまでの経緯、編集に向き合う心構えなど、次代に継承していくため、内容の可視化を検討しています。

また、市民参画の活動として、本委員会の議会サポーターを募集するほか、東京都福生市への先進地視察も予定しています。



▲6月28日 東京都福生市への行政視察の様子

議会改革の一翼を担っている、本委員会2年目の活動は、まとめ向かいながらも、改革の勢いを加速させていきます。
(伊藤)

令和4年第2回定例会 一般質問

[令和4年6月13日(月)～6月16日(木)]

議員11名が市政を問う



千田議員の
一般質問
中継はこちら

町内会情報のデジタル化と
電子回覧板の導入は
千田 文孝

質 昨年8月に総務省の調査があった電子機器の導入や、インターネット接続状況について、調査する考えは。
答 登別市連合町内会から、各町内会に対して事前に調査する事項があれば、併せてパソコンなどについても調査す

るよう協議していきたい。
質 町内会回覧板の電子化によるメリット・デメリットは。
答 世代別で利用するツールが違つと理解しているが、高齢者や独居世帯は、回覧板を利用するものと思われる。数年経過することで、時代背景により急速に電子化が進むと思われる。現在は過渡期と考えており、どのような方法が良いのか、他市への調査のほか、連合町内会と意見交換していく。
質 電子化によるメリットなどを広く教えていくことが重要では。
答 デメリットを緩和しつつ、時代の流れとして電子化は必要と考える。



村井議員の
一般質問
中継はこちら

高齢者や障がいのある方
への優しいまちづくり
村井 寿行

質 公共交通空白地域における既存バス路線の延長や、乗り合いタクシーの運行の考えについては。
答 高齢者や障がいのある方など、いわゆる交通弱者と言われる方々も住み良いまちとなるよう、バス・タクシー

2020東京オリパラを
生かしたスポーツ振興施策
宮武 祥子



宮武議員の
一般質問
中継はこちら

質 今後、トップアスリート等の合宿受け入れの考えは。
答 合宿受け入れは、スポーツ振興につながるため、積極的に協力していく。
質 大規模スポーツイベントの実施を通じたスポーツ振興については。

答 イベントへの参加をきっかけに、継続的な運動につながるため、関係団体と協議し取り組んでいく。
質 市内に増えているスケートボード愛好者の環境整備については。
答 既存施設の中で、試験的に場所を開放することができないか検討する。
質 今後のスポーツ振興に向け、地域おこし協力隊等の外部人材の活用は。
答 各団体において担い手不足が課題であり、外部人材の活用による人材の確保に加え、新たな視点などにより今後のスポーツ振興につなげるため、さまざまな団体からのご意見も踏まえながら、研究していく。

料金の助成や予約運行型の新たな公共交通の導入など、先進事例を研究しながら活用の可能性について検討していきたい。
質 高齢者や障がいのある方への公共浴場の整備については。
答 老人福祉センターでは、市内居住の高齢者等を対象に、健康の増進やレクリエーションの場を提供しており、その機能の一つと考えている。
浴場は低廉な使用料でご利用いただいており、高齢者福祉の増進を図る目的のほか、保健衛生上の施設として、大変重要な施設であると認識している。

誰もが安心して暮らせる

地域福祉の在り方は

今野幹大



今野議員の一般質問
中継はこちら



質 「大切な人を介護しているあなたも大切な一人です」と表紙に書かれた一般社団法人日本ケアラー連盟のケアラー手帳があるが、本市においても介護をされているケアラーの方たちに寄り添った心をお届けするため、ケア

ラー手帳の作成を検討しては。

答 ケアラーをサポートするための有効なツールの一つと考えているので、ケアラー手帳の導入も含めてケアラーサポートを研究していきたい。

質 スマホアプリによる、障がい者手帳提示の割引制度を認めることで、共生社会の実現の推進につながるのでは。

答 障がい者手帳を携帯する必要もなく、紛失する心配もないことから、利便性の向上につながるかと認識しているが、採用している自治体も少ないことから、まずは研究していきたい。

その他、高齢者の方々の心配ごと解消への取り組みを質問しました。

多様な性を受け入れるための

環境づくりへ
定立知也



定立議員の一般質問
中継はこちら



質 中学校のジェンダーレス制服導入の考えは。

答 多様性の観点から制服に対する議論も活発になり、ジェンダーレス制服を採用する学校が増えつつあるものと認識しているが、生徒自らが主体的に

制服の在り方を考え、その検討結果を尊重することが大切であると考えている。

質 校則の見直しからジェンダーレス制服導入に繋がるケースがある。

答 各中学校の校則見直しや、ジェンダーレス制服導入についての生徒へのアンケート調査を行うべきでは。

質 北海道教育庁学校教育局からの、校則の見直し等に関する取り組みについての通知を踏まえ、各学校において校則の見直しに関する取り組みを進めるよう周知している。

生徒の意向を把握する手法として、アンケート調査も有効と考えられる。

大規模太陽光発電施設に対する

規制の考えは

米田登美子



米田議員の一般質問
中継はこちら



質 本市では、山林の皆伐後に大規模太陽光発電施設（以下、メガソーラー）が稼働する例が多いのが現状であり、今後は、環境のほか防災の面の配慮においても新規の進出に対して規制するなどの考えはないのか伺う。

答 メガソーラーの設置に関しては、環境への影響も懸念されるため、環境とのバランスを考慮する必要があると認識している。

また、環境に係る法令を遵守した上で設置されているが、その法令を根拠とした、発電設備の設置行為自体規制することができない現状であり、地域住民と発電事業者が景観や安全対策等について、一定の合意を図りながら事業を進めることが望ましいと考えられるため、今後は発電事業者から市への届け出や地域住民への事前説明を要請することを盛り込んだ、ガイドライン等の策定の検討を進める。

雪害に順応していく

検証機関の創設を
伊藤健太



伊藤議員の一般質問
中継はこちら



本市においても、本年2月の大雪や暴風雪などの影響により、一部の地域で交通障害等の雪害が発生しました。

今後の雪害対策を講じる上で、過去の事例や今回の事象の検証機関を総務部に設置し、検証結果を踏まえた防

災対策や減災対策が必要だと考えます。検証機関の必要性を質問しました。

質 雪害対策への課題認識の現状は。

答 北海道防災会議で報告された雪害対策を参考に、輸送障害や道路除排雪対策などの6項目の課題や、近隣市町の計画を参考に調査・研究をしていく。

質 来季が迫っているが、新たな検証機関の設置や今後の対策については。

答 現行体制の課題を検証し、議論の中で解決の手法を検討していく。

また、公共交通機関や各部署が関わりのある機関との情報共有、連携強化と情報発信の在り方などから、改善への始まりとして検討していきたい。

高齢者向け施設入所における
軽減策は
佐々木 久美子



議員の
一般質問
中継はこちら



質 市内にある高齢者向け施設の種類を示されたが、要介護1・2の方が入所できる施設は、どのような施設があるのか。

答 老人保健施設、ケアハウス、有料老人ホームなどがある。

質 入居費用を考えた場合に、入所できる施設は限られると考えるが、特別養護老人ホーム入所希望者に要介護1・2の方も含まれているのか。

答 特例入所に該当となった要介護1・2の方も含まれている。

質 自己負担額以外にかかる費用はあるのか。

答 食費、居住費、日常生活費となる。

質 介護保険負担限度額認定は、特例入所者でも軽減措置を受けられるのか。また、住民税課税世帯の方についてはどうなっているのか。

答 要件を満たせば、特例的に負担軽減を受けられる場合がある。



議員の
一般質問
中継はこちら



総合計画第3期基本計画の
実施状況は
工藤 俱二雄

質 総合計画第3期基本計画の指標は達成・進捗で5割を超えており、残りの5割は継続・遅延・評価なしとなっているが、これについてどう考えるか。

答 令和2年度の指標については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に

質 総合計画第4期に携わる人材の育成について、どう考えているか。

答 将来のまちづくりを担う人材を育成していくことが魅力あるまちづくりには重要であり、引き続き、若い世代が、まちづくりの楽しさを共感・共有し、活躍できる場を創出していきたい。

意識なく倒れた独居者の
救急体制への取り組み
田中 寛志



議員の
一般質問
中継はこちら



市内65歳以上の単独世帯数は、3千343世帯中、104世帯が高齢者緊急通報システムの利用数となっています。見守り機能が付いていても、一日ごとの確認となり、意識なく倒れた場合に最大24時間の間が開いてしまいます。

健康に不安を感じている独居者のため、リスト型あるいは、時計型の緊急通報機器がありますが、装着者の転倒を検知したあとに作動する自動通報機能は、第三者を介しての通報となり、消防への直通とはなっておりません。今後の対応を質問しました。

質 今後の対応として、新たな救急システムの導入についての考えを伺う。

答 新たな救急システムの導入に関しては、今後、国の動向を注視するとともに、緊急通報機器がセキユリティ会社を介さずに消防への通報が可能となる動きがあり次第、検討していきたいと考えている。

高齢者の補聴器購入費への
公的助成制度を
渡辺 勉



議員の
一般質問
中継はこちら



日本の全人口の約11%を占める高齢難聴者は、日常生活での不便に加え、社会参加への影響、引いては認知症の危険因子として取り上げられています。日常生活で補聴器を使用することで解決できることも指摘し、その考え

について質問しました。

質 日本の補聴器普及率は、ヨーロッパ諸国の30%に対し、日本は10%と低く、主な原因に補聴器が高価(3万〜20万)なことがあげられる。

一部の自治体で公的補助が行われているが、国による補助制度が確立されるまで、市独自の制度創設の考えは。

答 加齢性難聴者の補聴器使用は、認知症の進行を防ぎ、日常生活をスムーズに過ごせるなどの効果を認識しているが、市独自の助成制度については、現段階では考えていない。

他市町村の状況も調査していきたい。引き続き、国に要請していきたい。

予算・決算委員会 (令和4年度補正予算審査)

[令和4年6月20日(月)・6月22日(水)]

本委員会に付託された令和4年度各会計補正予算案件の審査は、コロナ禍の状況を鑑み通告制としました。

初めに、議案第40号令和4年度登別市一般会計補正予算第4号については、質疑のあった事業は、歳出に関しては、総務費のウクライナ避難民支援事業補助金450万円、民生費では、原油価格・物価高騰による燃料価格上昇の影響を受け、公共交通事業者燃料価格高騰対策事業補助金625万5千円の補助と、総合福祉センターでの車庫棟の屋上防水改修に要する経費の増額による、総合福祉センター運営管理経費37万1千円、衛生費では、子宮頸がん予防フワチンの接種機会を逃した方へキャッチアップ接種実施のため、予防接種経費2千707万3千円のそれぞれ質疑を行い、また、歳入全般及び繰越明許費に関しては特に質疑なく、質疑終了後、全会一致で原案のとおり可決しました。

(二瓶)

議会改革度調査で
全国2位の評価

登別青嶺高等学校
の生徒との意見交換会を開催

早稲田大学マニフェスト研究所による、議会改革度調査ランキングにて、登別市議会が調査対象178議会(内1355議会が回答)中、2位と評価されました。

本市議会では、約20年間議会改革に取り組んできており、それらの積み重ねとともに、新型コロナウイルス禍におけるオンライン委員会の導入、地元高校生への主権者教育の実施、議会事務局職員提案制度の実施などの取り組みが新たに評価されたものと考えております。

権威ある団体による評価は、日頃の市民皆様のご理解とご協力があったことであり、心より感謝を申し上げます。

今後、これら議会内の仕組みを活用することで、議員の多様性を高めるとともに、住民福祉の向上につなげていくことを大切にしていきます。

(辻)

重点活動テーマ「健康なまちづくりに向けて」について登別青嶺高等学校の生徒6名と意見交換会を行いました。

生徒からは健康のために運動や栄養管理、良質な睡眠を普段から意識しているなどの意見を聞くことができました。

また、健康な体づくりのために本市に必要なこととして、大人も楽しめる遊具を公園に設置する、ウォーキングやサイクリングロードなどの環境整備が必要であるなどの意見が多く挙げられました。

また、若年層にも受けやすい、がん検診などの助成制度が必要など、さまざまな意見を頂きました。

今回の意見交換を参考に、健康を意識した生活習慣は、若いうちから意識していくことが大切であると認識し、引き続き、本市の健康寿命を伸ばすための調査を進めます。

(宮武)

意見書8件が可決されました。

次の意見書を可決し、意見書8件を国会・政府へ提出しました。
詳しい内容は、市議会ウェブサイトでご覧いただけます。

2022年度地方財政の充実・強化に関する意見書
適格請求書等保存方式(インボイス制度)の導入中止を求める意見書
水田活用の直接支払交付金の見直し中止を求める意見書
2022年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
北海道農業の基幹作物てん菜の生産を守ることを求める意見書
義務教育費国庫負担制度堅持・「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書
食料の自給率向上を求める意見書

議会中継を
スマートフォンなどで
閲覧しませんか?



令和4年第3回定例会は9月9日(金)から
開催される予定です。

本会議や各委員会は、スマートフォンやパソコンなどからでもご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ご来場による傍聴はできる限りお控えいただき、スマートフォンやパソコンから議会中継をご覧いただきますよう、ご協力をお願いします。

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会

問い合わせ

☎9220 / ✉ gikai@city.noboribetsu.lg.jp